

実践事例 2

「わたしたちの体育」を活用した実践例 ～5年生「ソフトバレーボール」～

米子市立福生西小学校 本池 順

1. はじめに

バレーボールは、相手コートにボールを落し得点が入るところや、相手にボールを落とされないように、チームのみんなでフォローしあったり、励まし合ったりするところを楽しみがある。習得した技能を活かしたり、作戦通りできたりしたときに喜びを感じることができる。

本学級の児童は、運動好きな児童が多い。しかし、作戦を考えられなかったり技能のポイントがわからなかったりするために、技能が習得できなかったり話合いができなかったりする。友だちにもアドバイスができない児童が多かった。また、ソフトバレーボールの学習を始めるにあたって、児童のアンケートでは、「作戦を工夫して勝ちたい」という児童が多かった。



そこで、「わたしたちの体育」を活用して、一人一人または、1チームごとに課題を意識しためあてをたてさせたり、得点を取ることを意識させて作戦を考えさせたりするとともに、作戦や技能のポイントを中心としたアドバイスを言い合いながら、楽しく、そして自分やチームの力を伸ばせる学習を実践したいと考えた。

2. 指導の実践

(1) 単元の計画

	1	2・3	4・5	6・7	8・9・10	11
主な学習活動	・オリエンテーション ・ルールの確認	活動①自分の課題を明確にしながら、練習方法とその目的をつかみ、基礎的な技能を身に付ける。(習得) スキルアップゲーム		活動②チームで話し合った作戦や練習で身に付けた技能を生かしながらゲームの攻防を楽しむ。(活用・探究) ・パワーアップタイム ・ゲーム		ソフトバレー福生西小選手権

(2) 指導の工夫

○「ふりかえり板」の活用

「楽しさ」「作戦」の2観点で、パワーアップタイム終了時と授業の終わりの2回、振り返りの時間をとり、初めの振り返りで出てきた課題を意識して、授業後半に活動することができるようにした。

○「アドバイスボード」の活用

「わたしたちの体育」の作戦例や技能のポイントなどを拡大印刷して小黒板に掲示した「アドバイスボード」を用意し、作戦を考える話合いや技能習得のための一助になるようにした。

○「わたしたちの体育」の活用

毎時間、わたしたちの体育の感想欄に、本時のめあてに沿って、できたことやできなかったことを振り返らせ、次時のめあてを立てるときの参考にさせた。仲間とともに学んでいくために、感想をチームで交流させた。



3. 成果○と課題☆

○「楽しさ」「作戦」の自己評価が低い子に対して、友だち同士でアドバイスなどをし合うことができた。1単位時間の途中で振り返りをするすることで、授業の後半や次時の意欲へとつなげることができた。話し合う活動を通して、仲間とともに上手になりたいという意識が持てた。

○作戦例や技能面について「アドバイスボード」で確認することで、作戦が考えやすくなったり、トスやアタックなどの技能を高めたりすることができた。

☆作戦をたてる話合いの際に、特定のメンバーだけで作戦を決めてしまうこともあったので、みんなが意見を出し合って話合いができるような手立てをもうひと工夫したい。

○「わたしたちの体育」の感想欄に、めあてに沿った成果と課題を書くことで、次時のめあてがはっきりとし、系統だった学習を積み重ねていくことができた。技能も効率よく習得できた。